



「スタッフの疑問あるある」に実践例で回答!

SOAP・経時記録を含めた 記録改善・指導の実践研修

こうする! 看護記録にかかる時間を短縮!

からかわうち
虻川内 亜也美氏

戸塚共立第1病院 看護部長
TMG (戸田中央医科グループ)
本部看護局
看護記録委員会 委員長

1985年慶應義塾大学医学部附属厚生女子学院卒業。1986年聖母助産婦学院卒業後、慶應義塾大学病院に助産師として勤務。1993年より戸田中央医科グループ(TMG)新座病院に看護師として勤務、2008年に看護部長。2010年より佐々総合病院、2017年ONE FOR ALL横浜開設に携わった後、戸塚共立第1病院に転勤異動する。2007年日本看護診断学会正会員登録、TMG本部看護記録委員として活動を始め、現在に至る。2012年日本看護協会認定看護管理者を取得。

仙台	18年 7月1日 (日)	ショーケー本館ビル
岡山	18年 8月4日 (土)	福武ジョリービル
福岡	18年 9月2日 (日)	福岡県中小企業振興センター
東京	18年 11月4日 (日)	日総研 研修室 (廣瀬お茶の水ビル)

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 税込	一般 19,000円	会員 16,000円
	※会員は1 専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。 ※最少催行人数12人。	

お客様の生の声は

ホームページ 毎週更新 **現場から生まれた専門性を磨く研修と教材**

プログラム

1. 看護記録の基本と課題

- 1) 看護記録の目的・意義、整備
- 2) 業務記録として、記載内容の鍵となるもの

2. 事実をありのままに記録する

- 1) 客観的な事実を記録する理由
- 2) 事実をありのまま記録する (注意すべき看護表現)

- 人権・人格を侵害する表現
 - 患者の状態や性格に関する否定的な表現
 - スタッフの主観や憶測、決めつけや偏見による表現
 - 状況説明が適切でない表現
- 3) 一時的問題(T:テンポラリー)の記載方法
 - 医学問題をどう記録するか
 - インフォームドコンセントの記録
 - 4) トラブル発生! 経時記録の書き方
 - 高齢者の転倒事故による骨折が起こった事例
 - 5) 叙述的記録
 - 認知の症状などを表見する場合の事例

3. 「スタッフの疑問あるある」…指導のポイントは?

- 1) 記録をタイムリーに記入できない
- 2) 変化のある患者は記録をまとめて書くのか? 経時的に一つひとつ書いた方がいいのか?
- 3) 入院時の記録ってどう書けばいいの? 短時間で記録する工夫は?
- 4) (SOAPの)アセスメントが難しい
- 5) 問題(#)変更時の統合アセスメントの書き方が分からない
- 6) アセスメントにプランを入れてしまう
- 7) アセスメントで病状予測をしてしまう
- 8) 観察のみで、フィジカルアセスメント能力が弱い など

4. アセスメント能力向上に向けて

- 1) クリニカルラダーとの連動
- 2) 監査の実際…「情報の不足内容」「アセスメントの修正」「見本となる例」の提示
- 3) スタッフ指導で心掛けていること

実行して成果を得た
現場改善・見直し例!

隔月刊誌(年ぎめ定期刊行物)
A4変型判 104頁 入会金 3,000円
年間購読料 14,399円(共に税込)

6-7月号
特集

- インシデント・アクシデント発生時 適切な記録の書き方
- 看護記録監査のフィードバックの効果的な活用
- 重要な患者情報をさらに深く掘り下げ術

臨床 ◀▶ 看護記録

▶ 詳細はホームページで www.nissoken.com

● お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書		▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください	送付住所 TEL () -	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
SOAP・経時記録を含めた 記録改善・指導の 実践研修 [14371]	ふりがな	氏名 (受取 確認者)	〒 -	
	↓参加地区に✓印を	生年月日 西暦 19 年 月 日	勤務先名	
[10] <input type="checkbox"/> 仙台 7/1	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください			
[11] <input type="checkbox"/> 岡山 8/4	お客様コード	役職・部署		
[12] <input type="checkbox"/> 福岡 9/2				
[13] <input type="checkbox"/> 東京 11/4	ご連絡をお送りします。メールアドレス			

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 **日総研出版** 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy